

# MHAM日本債券インデックスファンド

追加型投信／国内／債券／インデックス型

## 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「MHAM日本債券インデックスファンド」は、この度、信託約款の規定に基づき、繰上償還の運びとなりました。

当ファンドは、わが国の公社債に投資を行い、ベンチマークであるNOMURA-BPI総合の動きに連動する投資成果を目指して運用を行いました。

ここに、運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2019年5月9日～2019年9月24日

第10期	償還日：2019年9月24日	
償還日 (2019年9月24日)	償還価額	11,400.51円
	純資産総額	168百万円
第10期	騰落率	1.6%
	分配金合計	0円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。  
(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

## ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

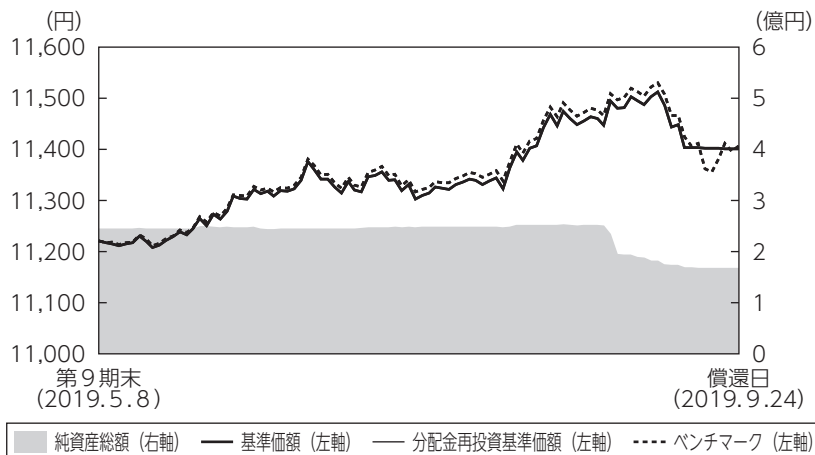
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク (NOMURA-BPI総合) は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。なお、ベンチマークについては後掲の<当ファンドのベンチマークについて>をご参照ください。

### 基準価額の主な変動要因

MHAM日本債券インデックスマザーファンド受益証券への投資を通じて、国内債券への投資を行った結果、市況が上昇 (金利は低下) したことが寄与し、基準価額は上昇しました。

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第10期		項目の概要
	(2019年5月9日 ～2019年9月24日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	20円	0.177%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,351円です。
(投信会社)	( 9)	(0.083)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	( 9)	(0.083)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	( 1)	(0.012)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.001	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	( 0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	20	0.178	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

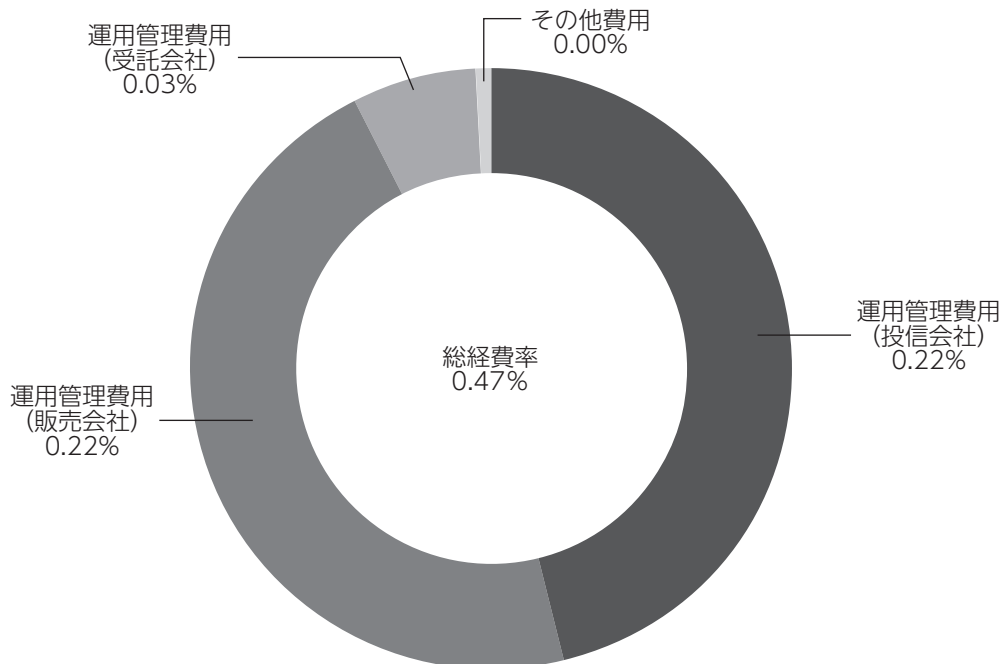
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

**(参考情報)**

## ◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.47%です。



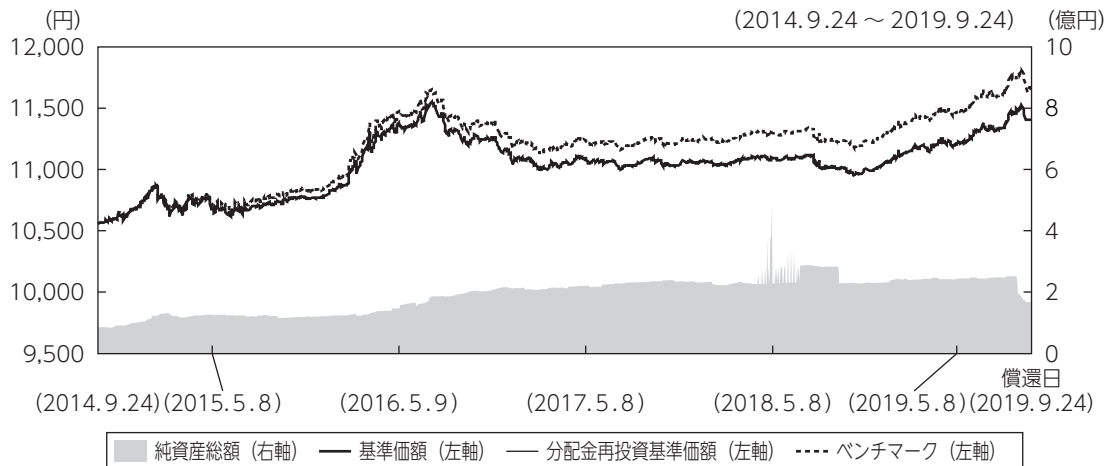
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク (NOMURA-BPI総合) は、2014年9月24日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2015年5月8日 期首	2016年5月9日 決算日	2017年5月8日 決算日	2018年5月8日 決算日	2019年5月8日 決算日	2019年9月24日 償還日
基準価額 (分配落) (円)	10,675	11,364	11,074	11,085	11,221	(償還価額) 11,400.51
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	6.5	△2.6	0.1	1.2	1.6
ベンチマークの騰落率 (%)	—	7.0	△2.1	0.6	1.7	1.7
純資産総額 (百万円)	126	148	221	228	245	168

## 投資環境

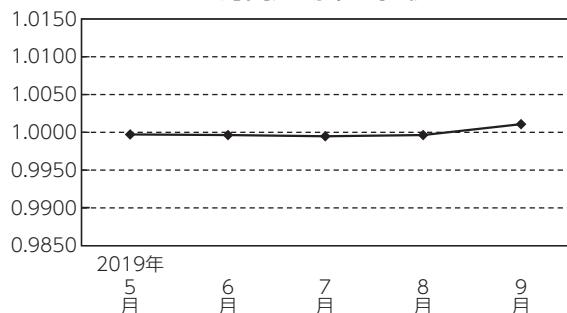
### ●国内債券市場

国内債券市場は、上昇しました。期初から8月にかけては、米中貿易摩擦の長期化懸念や、世界景気の先行き不透明感の高まり、米欧中銀の金融緩和観測などを背景に、概ね上昇基調で推移しました。9月には、米中貿易摩擦の緩和期待に伴うリスク選好の動きなどから上げ幅は縮小しましたが、前期末対比では上昇となりました。

## ポートフォリオについて

### ●当ファンド

<月間連動率の推移>



$$\text{月間連動率} = \frac{1 + \text{基準価額月間騰落率}}{1 + \text{ベンチマーク月間騰落率}}$$

(注) 月間連動率の2019年5月は対期首比、2019年9月は償還日対2019年8月末比

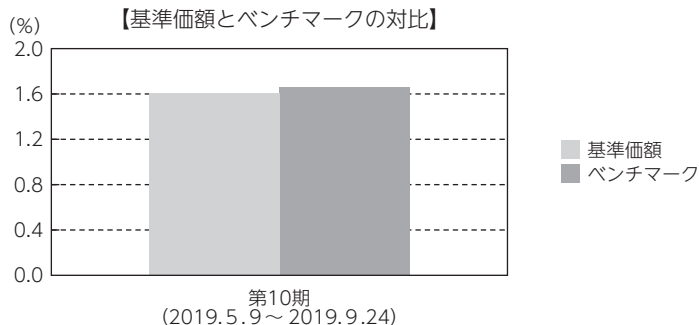
当期の運用につきましては、当ファンドの運用方針に従い、MHAM日本債券インデックスマザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持しました。

### ●MHAM日本債券インデックスマザーファンド

当期の運用につきましては、当マザーファンドの運用方針に従い、NOMURA-BPI総合への連動性維持を目指した運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

MHAM日本債券インデックスマザーファンド受益証券への投資を通じて、国内債券への投資を行った結果、当ファンドの基準価額はベンチマークを0.1%程度下回りました。この差異は、主に信託報酬などの諸費用によるものです。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

※設定来の運用経過については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

このたび償還を迎えるにあたりまして、当ファンドへのご愛顧に心より感謝申し上げますとともに、今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

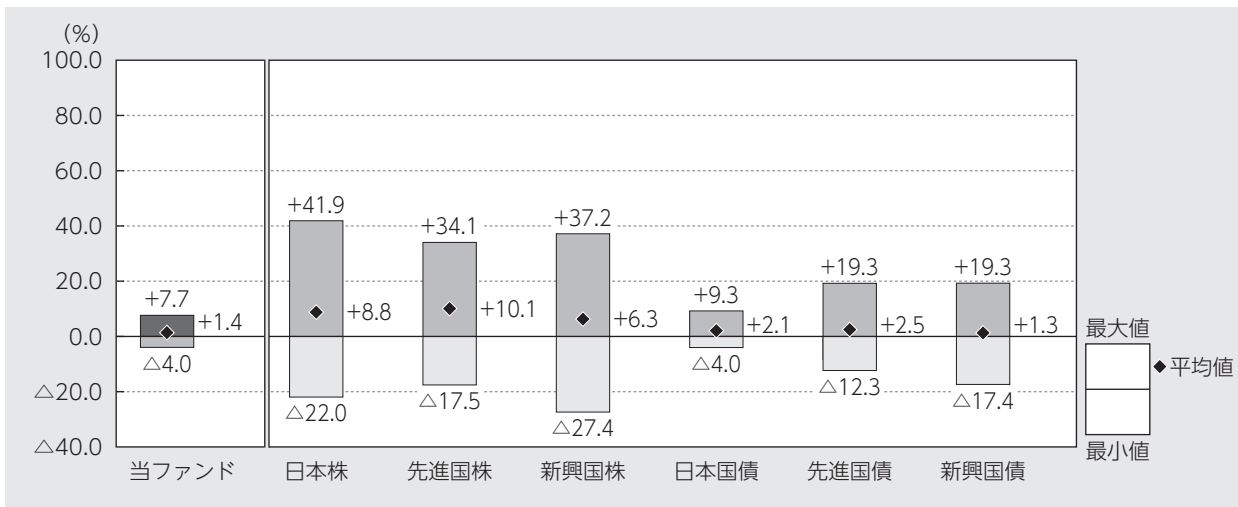
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／国内／債券／インデックス型	
信託期間	2010年11月19日から2019年9月24日（当初無期限）までです。	
運用方針	わが国の公社債を主要投資対象として、ベンチマークであるNOMURA-BPI総合の動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。	
主要投資対象	MHAM日本債券インデックスファンド	MHAM日本債券インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	MHAM日本債券インデックスマザーファンド	わが国の公社債を主要投資対象とします。
運用方法	MHAM日本債券インデックスマザーファンドを通じてわが国の公社債に投資を行います。 公社債への投資割合は、原則として高位を維持します。	
分配方針	毎年原則として5月8日に決算を行い、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は委託会社が基準価額の水準や市況動向等を勘案して決定します。 収益分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用しています。（ファミリーファンド方式とは、投資者の皆さまからお預かりした資金をまとめてペビエーファンドとし、その資金をマザーファンドに投資することにより、その実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。）



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2014年9月～2019年8月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引き前の分配金を再投資したものと計算しています。

### \*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPMオルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

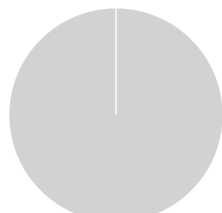
## 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容（2019年9月24日現在）

#### ◆組入ファンド等

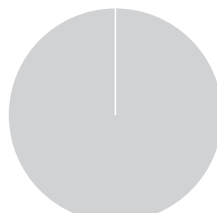
当ファンドに組入れておりました親投資信託受益証券は期中に全て解約いたしました。

#### ◆資産別配分



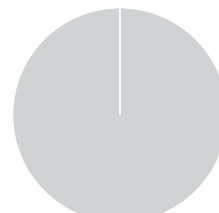
その他  
100.0%

#### ◆国別配分



その他  
100.0%

#### ◆通貨別配分



その他  
100.0%

(注1) 比率は償還時における純資産総額に対する割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。

### 純資産等

項目	償還時
	2019年9月24日
純資産総額	168,573,048円
受益権総口数	147,864,515口
1万口当たり償還価額	11,400.51円

(注) 当期中における追加設定元本額は16,067,291円、同解約元本額は86,584,389円です。

## 組入ファンドの概要

※償還時における組入ファンドはありません。

【MHAM日本債券インデックスマザーファンド】（計算期間 2018年5月9日～2019年5月8日）

### ◆基準価額の推移



### ◆1万口当たりの費用明細

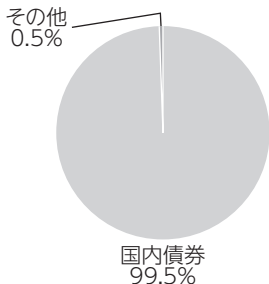
項目	(2018年5月9日～2019年5月8日)	
	金額(円)	比率(%)
平均基準価額	12,369	—
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	0 (0)	0.000 (0.000)
合計	0	0.000

### ◆組入上位銘柄

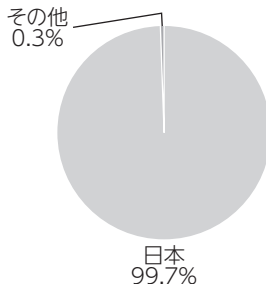
(組入銘柄数：446銘柄)

順位	銘柄	種別	利率	償還日	比率
1	第129回 利付国債 (5年)	国債	0.10%	2021/09/20	1.0%
2	第350回 利付国債 (10年)	国債	0.10	2028/03/20	1.0
3	第333回 利付国債 (10年)	国債	0.60	2024/03/20	1.0
4	第325回 利付国債 (10年)	国債	0.80	2022/09/20	1.0
5	第329回 利付国債 (10年)	国債	0.80	2023/06/20	1.0
6	第332回 利付国債 (10年)	国債	0.60	2023/12/20	1.0
7	第334回 利付国債 (10年)	国債	0.60	2024/06/20	1.0
8	第328回 利付国債 (10年)	国債	0.60	2023/03/20	0.9
9	第342回 利付国債 (10年)	国債	0.10	2026/03/20	0.9
10	第135回 利付国債 (5年)	国債	0.10	2023/03/20	0.9

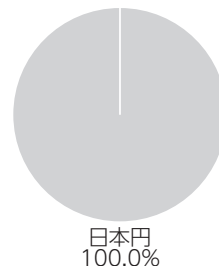
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



### ◆通貨別配分



(注1) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は当マザーファンドの直近の計算期間末のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細は当マザーファンドの直近の決算期のものであります。費用の項目の概要については運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分についてはポートフォリオの合計（除く現金）に対する割合です。

(注4) その他は100%と配分比率の合計との差になります。

(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

## ＜当ファンドのベンチマークについて＞

### ●NOMURA－BPI総合

「NOMURA－BPI総合」は、野村證券株式会社が公表している日本の公募債券流通市場全体の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。

NOMURA－BPI総合の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

## ＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA－BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI－EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。